

資料館だより

CONTENTS

- 1… TOPICS
- 2… 展示活動報告／講演会実施報告
- 3… 雑感／寄贈・移管資料
- 4… 開催案内

「モールス氏電信機」
四高物理実験機器(明治11年交付)

TOPICS

資料館特別展「加賀藩校扁額～明倫堂・経武館～」を開催



資料館では、平成29年9月1日(金)から10月27日(金)まで(ホームカミングデイの開催に合わせて、実質的には10月29日(日)まで延長)特別展「加賀藩校扁額～明倫堂・経武館～」を開催しました。

この展示は、前号でもお知らせしたとおり資料館が所蔵する藩校の扁額2面が金沢市の有形文化財に指定されたことを記念し、また、9月30日(土)及び10月1日(日)に開催の第15回全国藩校サミット金沢大会に連携して開催したものです。

展示では、両扁額を揮毫した新井白蛾と前田土佐守直方を取り上げ、その人物像に迫るとともに、加賀藩に関連する藩校と全国の主な藩校について紹介しました。藩校サミットのエクスカーションの視察先にも選定され、関心のある関係者が多く訪れました。

なお、本展示会の内容については、展示図録「加賀藩校扁額～明倫堂・経武館～」として資料館Webサイトの「刊行物」に掲載していますので、関心のある方は、こちらをご覧ください。

展示活動報告

アウト
リーチ展

出張写真展「よみがえる城内キャンパス」開催

会期 平成29年10月20日～11月2日 会場 金沢城公園河北門



本学のホームカミングデイに合わせて金沢城公園で開催している恒例の資料館出張写真展を、昨年度に引き続き河北門において開催しました。

開催期間中の2度の日曜日が、金沢マラソンと台風重なったため、当初の予想を下回りましたが、14日間の展示で約9,000人を超える入場者があり、市民の方が懐かしそうに見入る姿が見られました。

美術展

「i-Acanthus Ars 2017」開催

会期 平成29年11月1日～11月22日 会場 資料館展示室

恒例となった人間社会学域学校教育学類美術教育専修の学生、教員及び卒業生による作品展覧会が資料館展示室で行われました。

会場には、絵画、彫刻、デザイン、写真、工芸などの作品約30点が展示され、多くの方が鑑賞に訪れました。



講演会実施報告

特別講演会「新井白蛾とその時代」を開催



資料館特別展「加賀藩校～明倫堂・経武館～」の開催に合わせ、この特別展の展示にも協力いただいた東京大学大学院人文社会系研究科教授の小島毅先生を講師にお迎えし、中央図書館AV室を会場に、「新井白蛾とその時代」と題して10月23日(月)に講演会を開催しました。

明倫堂の初代学頭であり、朱子学者であった新井白蛾が古易の復興とその重要性を唱えていたこと及び当時の儒学・易学の動向について、同時代の著名人を挙げながら分かりやすく御講演いただきました。

企画展を通して感じたこと ～企画から展示まで～

私は企画展『バンカラ寮生類』に展示班のリーダーとして携わりました。主に関わったのは什器や展示物の配置案考察、照明配置でした。今回は北溟寮から独自に持ち帰った資料が多く、他では見ない興味深い資料が多かったのですが、その分癖が強く雰囲気づくりが大変だったように思います。私自身も北溟寮調査に参加しましたが、その寮の独特な雰囲気を持ち帰ったものを通して伝えられればと思ったので、そういった点に着目しながらみていただければと思います。また、マッピングと称して参加型の展示もあるのでそちらも見ていただければと思います。学生ならではの発想、視点によってつくられた展示をぜひ様々な視点から見ていただければと思います。



人間社会学域人文学類 4年 瀧澤 龍貴

今回の学生企画展は私にとって貴重な経験になりました。私が所属していたデザイン班では、展示のためのポスターや解説パネル等の制作を行いました。これがなかなか大変でした。デザインは各班の仕事の集合体です。解説パネルで言えば、展示班がパネルの数と配置、資料班が資料の調査、キャプション班が文章、そして私たちがこれらをデザインします。各班と連絡をとりあい、調整もします。ときには連絡不足で困ることもありました。しかしお互い情報共有に努めたので、分かりやすいパネルを作ることができたと思います。学んだのは、連携を上手にすることでよりよい仕事ができるということです。それぞれ違う役割を持つ人が力を合わせると大きな物事も成し遂げられると実感しました。

人間社会学域人文学類 3年 玉崎 藍子

私はキャプションや解説パネルの文章作成などを担当するキャプション班に所属していました。文章を考える際、限られた文字数の中で来館者に展示の意図や資料の魅力を最大限に伝えることを大切にしました。なかでも苦労したのは資料名の英訳です。様々な英語表現がある中で、直訳ではなくその資料をより適切に表現した英訳はどのようなものなのかを考え、何度も練り直しました。また、人に伝えるためには自分自身が展示の意図や資料について深く理解する必要があります。わからないことがあれば文献を読み、資料班などの他の実習生にも積極的に質問しました。

こうして実習生一丸となって取り組んだ企画展が無事開催されてうれしく思います。

人間社会学域人文学類 3年 永井麻美子

平成29年9月～12月
寄贈・移管資料

今期も貴重な資料を寄贈・移管していただきました。当館にて大切に保存し、活用させていただきます。ここに、改めて感謝申し上げます。

寄贈

- ・ 第四高等学校柔道部「柔の道 其一」「柔の道 其二」 杉原 暁氏
- ・ 理研OB会報 2007年特別号 近藤一郎著の稿
理研OB会報 第74号 亀淵迪・平田久子著の稿 亀淵 迪氏
- ・ 昭和48年9月12日付端名清氏(北溟寮寮歌作詞者)より
北溟寮長(当時)宛書筒(「北溟寮寮歌」楽譜原本コピー付) 團野光晴氏

移管

- ・ 金沢大学人間社会学域学校教育学類附属高等学校校旗 附属高等学校



杉原氏寄贈
「柔の道
その一、その二」

開催案内

学生
企画展

「バンカラ寮生類 ～金大寮史124年～」

会期 平成29年11月29日～平成30年3月16日 会場 資料館展示室

資料館展示室では、平成29年11月29日(水)から平成30年3月16日(金)まで学生企画展「バンカラ寮生類～金大寮史124年～」を開催しています。

この企画展示は、本年度に「博物館実習」を受講している学生たちが、これまで学んできた博物館学の理論及び学内外での館園実習の実践経験を踏まえ、テーマ選定からポスターデザイン、パネル作成及び資料の選定・展示に至るまでほぼ全ての学芸員業務を自ら行った成果発表です。

今回は、昨年度末で閉寮となった北溟寮について、学生たちが閉寮後の寮内を探検し、お宝を自ら集め、整理し、展示したものです。

また、この期間に、学生が企画したミュージアム・ツアーや怪談会^{かいだんえ}を併せて開催します。ぜひ、足を運んでいただき、学生の力作をご覧ください。



アウト
リーチ展

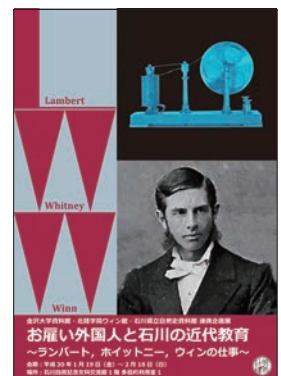
「お雇い外国人と石川の近代教育 ～ランバート、ホイットニー、ウインの仕事～」

会期 平成30年1月19日～2月18日 会場 石川四高記念文化交流館 多目的利用室1

資料館では、地域の文化施設とも連携し、共同事業として街中での出張展覧会(アウトリーチ展)を昨年度から実施しています。

今年度は、北陸学院ウイン館及び石川県立自然史資料館との連携事業として、明治初期に金沢において活躍したお雇い外国人教師を取り上げ、彼らを通して石川の近代教育と教材について、ご紹介します。

なお、平成30年は、明治元年から数えて150年目に当たることになり、非常にタイムリーな企画となっていますので、香林坊周辺にお出かけの際は、ぜひお立ち寄りください。



編集後記

博物館実習を受講する学生が、今年は「寮」をテーマに企画展を開催中です。「北溟寮」の探検(資料収集)に出かけたり、新旧の寮生たち(古くは明治時代)の思いをタブレットでツイッター風にアレンジしたり…学生ならではのアイデア満載の企画展です。展示業務に携わる者として、刺激を受け、勉強になります。学生企画展、1月のアウトリーチ展、それぞれ熱い思いが込められています。寒い季節の展覧会ですが、どうぞご覧ください。(藤原真理)

金沢大学資料館だより
第55号 平成30年1月26日発行



[発行/編集] 金沢大学資料館

〒920-1192 金沢市角間町
TEL 076-264-5215 FAX 076-234-4050
Mail museum@adm.kanazawa-u.ac.jp

<http://museum.kanazawa-u.ac.jp>